

日本数学協会

第14回総会議事録

1. 日 時 平成27年6月7日(日)午前11時30分～12時30分
2. 場 所 東京大学数理科学研究科棟
3. 会 員 数 597名(5月31日現在)
4. 出席者数 142名(うち委任状118名)
5. 議事経過 司会者渡邊芳行氏より、出席者数が会則第20条で規定している定足数(会員の5分の1以上)に達しており、本総会が有効に成立した旨の報告があった後、上野健爾会長より開会挨拶があった。
議題に入る前に、長い間にわたり「数学講座」開催準備等にご尽力いただいた、(株)正進社代表取締役社長小林様とご担当者伊藤様に、感謝状と記念品が贈呈された。
この後、会則第19条第1項の規定により、上野健爾会長が議長となり、本総会の議事録署名名人に、河野貴美子氏と水谷一氏を指名し、議事に入った。
6. 議 題
 - (1) 平成26年度事業活動報告(案)・同収支決算(案)について
事務局より資料に基づき一括して説明し、原案通り異議なく承認された。
 - (2) 平成27年度事業活動計画(案)・同収支予算(案)について
事務局より資料に基づき一括して説明し、原案通り異議なく承認された。
 - (3) 幹事会からの報告について、
上野会長より「数学文化」第19号に著作権違反の書評を載せた問題についての経緯と説明がなされた。
また、日本珠算連盟と日本数学協会との共同でソロバンを主体とした小学校の教科書作りをプロジェクトとして行ってきたが、その間に日本珠算連盟の内部資料として小学校1年生用の「そろばんをつかって学ぼう! だいすき さんすう」を印刷し、会員に配布したところ、この本が数研出版より著作権および出版権の侵害があるとの抗議を日本珠算連盟が受け、印刷物を自主回収したことの経緯と説明がなされた。日本珠算連盟の會本専務理事からも同様の説明があった。また現在、この問題は完全に解決しており、今後も日本珠算連盟と日本数学協会と、共同で独自のソロバンを主体とした小学校の教科書作りをおこなっていくとの説明がなされた。

3年以上会費を滞納されている会員の方33名について、会則9条の規定により、除名することが承認された。

以上の決議をもって上野議長が閉会を宣し、第14回総会を終了した。

上記の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長および議事録署名人は次に記名押印する。

平成27年6月7日

日本数学協会

議長

上野健爾



議事録署名人 河野貴美子



議事録署名人 水谷 一

